

# 枚方市立招提中学校



外観

大阪府の北東部、大阪と京都を結ぶ地に位置する枚方市。その北部にある「枚方市立招提中学校」は、1973（昭和48）年に枚方市立第三中学校より分離し、開校された。



トイレ入口

奇数階が男子トイレ、偶数階が女子トイレとフロアで男女が分けられている。入口には、生徒同士の交流や荷物の置き場に利用できるようベンチを設けている。

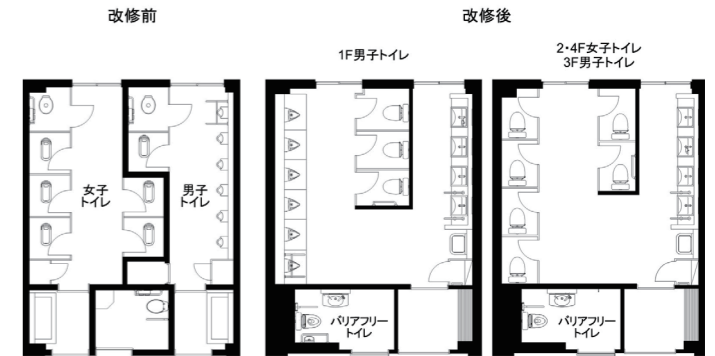


洗面コーナー

洗面器の水栓金具は、非接触で水の出し止めができる自動水栓を設置。改修後のアンケートでも生徒から高評価を得ている。

## トイレ図面

すべての子どもたちがストレスなく利用できるよう、性的マイノリティなどの多様な利用者への配慮として、3F男子トイレを女子トイレと同様のレイアウトにし、小便器を設けず大便器ブースのみとしている。



小便器コーナー

1F男子トイレには小便器を設置し、大便器と小便器を選んで利用できるように配慮している。内装は壁面を濃い黄色、トイレブースを白系、床材を明るい木目調にすることで圧迫感が出ないよう工夫されている。



大便器コーナー

窓から自然光が差し込む大便器コーナー。2・4Fの女子トイレは両サイドに大便器ブースが並ぶ。3Fの男子トイレも小便器を設置せず、同様のレイアウトとなっている。



大便器ブース

大便器はすべて洋式便器に変更し、連続洗浄が可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。男女とも同一の仕様で、すべてのブースに擬音装置を設置しプライバシーにも配慮している。



大便器ブース

大便器ブースのうち1ヶ所には、立ち座りをサポートするためのL型手すりと、ウォシュレットPを設置している。



バリアフリートイレ

全フロアには、はね上げ手すりとL型手すりを備えたバリアフリートイレを設置。ウォシュレットは、温風乾燥付きのウォシュレットアブリコットPを選定している。



改修前

## 水まわりの特長

### 改修の経緯

大阪府枚方市では、「教育施設の整備」と「学習環境の充実」に対する施策計画として位置づけられた「枚方市学校整備計画」に基づき、学校施設・設備の整備はもとより、トイレの洋式化、乾式清掃化、ユニバーサルデザイン化を、令和5年度達成を目標に推進。市内の小学校19校、47棟の改修を進めている。さらに改修後のトイレについては、生徒、保護者、教職員に対してアンケートを実施し「学校トイレ整備における基本的な考え方」として令和4年度末にまとめ、次期改修計画策定における検証が行われている。「枚方市立招提中学校」は、1973（昭和48）年に枚方市立第三中学校より分離し開校。築後50年となり老朽化が目立ってきたため、整備計画に基づき改修された。

### トイレの特長

奇数階は男子、偶数階は女子と、フロアごとに男女トイレに分けており、1F男子トイレは、学校行事や災害時の避難所となった際に生徒以外の利用が予想されることなどから、大便器・小便器を選んで利用できるよう小便器を配置。3F男子トイレは、多様な利用者への配慮として大便器ブースのみとし、すべての子どもたちがストレスなくトイレを利用することができるようにしている。トイレ入口はドアレスとし、レイアウトは窓からの採光を遮らないようブースの配置を工夫して明るいトイレになっている。また、大便器はすべて洋式化に変更し、連続洗浄ができるパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。男女とも同一の仕様ですべての大便器ブースに擬音装置を設置して、プライバシーにも配慮している。

## 建築概要

名称	枚方市立招提中学校
所在地	大阪府枚方市招提東町2-1-12
施主	枚方市
設計	コンストラクションインベストメントマネジャーズ株式会社
施工	株式会社昌栄工務店
竣工年月	(改修)2022年8月
敷地面積	23,767㎡
延床面積	7,495㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階

## おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498BC  
 ウォシュレットアブリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPN  
 ウォシュレットP:TCF587/紙巻器:YH51R/音姫(トイレ用擬音装置):YES402R  
 自動洗浄小便器:UFS900R/ハイドロセラ/フロアPU:AB690系  
 マーブライトカウンター(陶器タイプ):ML45/洗面器:L350系  
 壁掛洗面器:L270C/台付自動水栓:TENA40系/パブリック用流し:SK22A